

ヤングケアラーについて

岐阜市 福祉部 介護保険課

ヤングケアラーについて

1 ヤングケアラーとは

家族に病気や障害のためにケアを要する人がいる場合に、ケアの責任を引き受けて家事や家族の世話、感情面のサポートなどを行う子どもをヤングケアラーと呼びます。

近年、これまで見過ごされがちだった大人が担うようなケア責任を引き受け、家族のケアや心身両面のサポートなどを行うヤングケアラーの支援が求められるようになっていきます。

ヤングケアラーは、通常は大人が負うと想定されているようなケア責任を引き受けています。

2 ケアの内容

子どもが行うケアの内容は、家族の病気や障害の種類や程度、ケアが必要とされる頻度、家族構成などによって異なりますが、以下のようなものがあります。

- 家事(買い物、料理、掃除、洗濯など)
- 一般的ケア(薬を飲ませる、着替えや移動の介助など)
- 情緒面のサポート(家族の感情状態の観察、落ち込んでいる時に元気づけようとする事など)
- 身辺ケア(入浴やトイレの介助など)
- きょうだいの世話
- 請求書の支払いや病院への付き添い
- 家計を支えるためのアルバイト
- 家族のための通訳

ヤングケアラーについて

3 ヤングケアラーの子ども

子どもは、ケアをすることを通して、自分が役に立っていると感じたり、家族との結び付きが強まったと感じたりすることもあります。実際にケア役割を担っていることに対し、大人からの承認と評価が与えられることは大切です。

このことによりヤングケアラーが自信を得ることもあります。しかし反面、家族のケアとその他の生活の両立が難しくなり、家庭の問題を一人で抱え込み、心身の疲労が蓄積しても周りに支援を求めづらくなります。

4 ヤングケアラーへの支援

子どもがケアを担い始めた時の年齢が低く、ケアが長期にわたる時、そして、そのケア責任が、その子の年齢や成長の度合いに不釣り合いなものである時には、子どもは、自分の心身の発達や人間関係、勉強、進路などにも影響を受けることがあります。

○ヤングケアラーへの支援として、

- ・ケアが子どもにとって過度な負担になっている時には、子ども自身のニーズや生活状況や要望の確認や、その子のケア負担を軽くできるよう、さまざまなサービスにつなげることが必要になります。
- ・周りの人がヤングケアラーという概念を知り、「こういう子どもたちがいる」ことを理解することが重要です。
- ・ヤングケアラーに気がつく役割が期待されるのは、学校の先生や地域の民生委員など子どもらと接する機会が多い人です。
- ・さらに介護サービス事業所の皆様、例えばデイサービスのスタッフ、ホームヘルパー、ケアマネジャーなど、ヤングケアラーがケアをする家族や親族にかかわる人々です。

●皆様には、まずは、ヤングケアラーが少なからずいて、今現在も大変な思いをしている子どもがいることを十分理解され、そして、今後家庭訪問等の中で、ヤングケアラーの存在を把握した場合は、岐阜市福祉部、岐阜市子ども・若者総合支援センター、岐阜市教育委員会等の関係機関に、できるだけ速やかにご連絡いただくようお願いいたします。